

# いちご病害虫情報第2号(7月)

令和元(2019)年7月19日  
栃木県農業環境指導センター

## ○今月の病害虫発生状況○

- ・ **うどんこ病**は平年並、**炭疽病・萎黄病**は少ないです。
- ・ **ハダニ類**はやや少なく、**アブラムシ類**は平年並です。

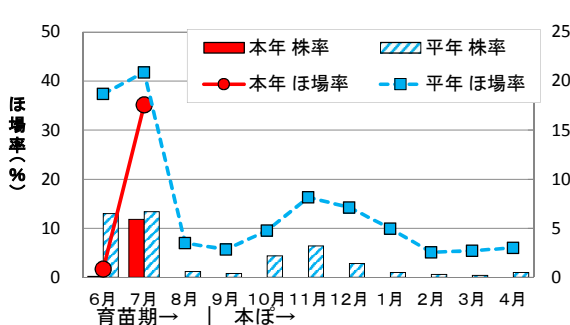


図1 うどんこ病の発生ほ場率・株率

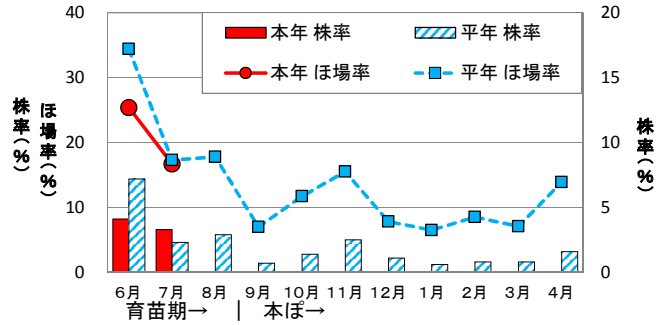


図2 アブラムシの類発生ほ場率・株率

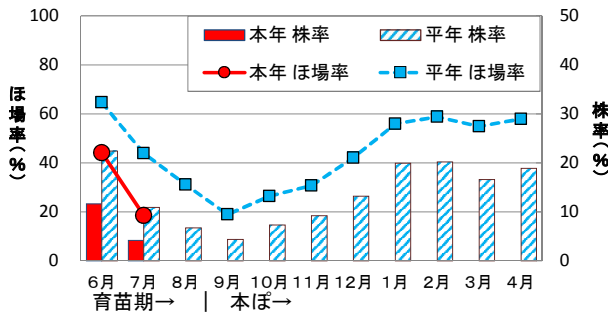


図3 ハダニ類の発生ほ場率・株率

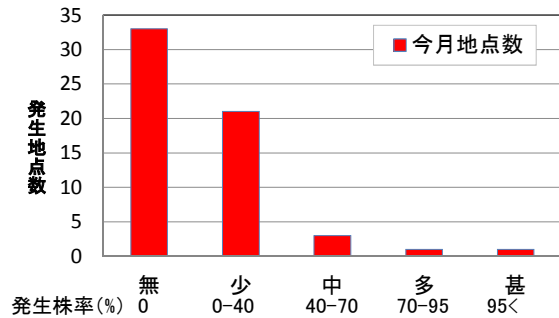


図4 発生程度別の地点数(ハダニ類)

## ○今月の技術情報(技術指導班)○(7月)

・うどんこ病、アブラムシ類、コナジラミ類の発生は平年並となっておりますが、炭疽病、萎黄病など、そのほかの病害虫は少ない状況です。

・7月に入り低温・日照不足が続いています。7月上旬の平均気温は平年より1.2℃低く、日照時間も平年の14%と少ない(いずれも宇都宮地方気象台)うえ、7月18日発表の1か月予報(7月20日～8月19日)では「期間のはじめは日照時間が少なく、気温の低い状態が続く見込み」であり、仮植後の生育遅延、軟弱徒長、発根不良や根腐れが懸念されます。

・過度なかん水は控えるとともに、遮光資材をはずし、株間を広くとり採光性を高め、風通しをよくしましょう。

・また、葉かきや薬剤散布は晴天の日を待って作業するよう心がけ、ほ場観察と発生予察情報を参考に炭疽病、萎黄病の防除意識を高めましょう。

・低温と日照不足により、太陽熱消毒等の防除効果が十分でない場合も想定されるため、病害等の発生が多かったほ場では、梅雨明け以降も処理を延長するか化学農薬の利用を検討しましょう。



写真1 葉に寄生するワタアブラムシ



写真2 糸を張るナミハダニ